



# 講義の流れ

1.はじめに

2.高次脳機能障害の方のエピソード

3.発達障害や統合失調症の方からのエピソード

4.意見交換

5.必要な配慮について

6.地域生活支援センター利用者の多くから寄せられたエピソード

7.まとめ

# 1.はじめに

こうぎ もくてき  
講義の目的について

しょうがい かた こま はいりよ じっさい しょうがい かた  
・障害のある方の困りと配慮について、実際に障害のある方  
のエピソードから<sup>まな</sup>学び、<sup>りかい</sup>理解を<sup>ふか</sup>深めること。

こうぎ なか つた しょうがい かた  
・講義の中でお伝えする障害のある方のエピソードをもとに、  
どのような<sup>はいりよ</sup>配慮が<sup>ひつよう</sup>必要か、<sup>いけん</sup>意見<sup>こうかん</sup>交換をしていただき、<sup>いいん</sup>委員それ  
ぞれに<sup>とうじしゃ</sup>当事者<sup>いしき</sup>意識を<sup>も</sup>持ってもらうこと。

## 2. エピソード～高次脳機能障害の方～

にがて  
苦手なこと

⇒ 相手の話を聞き取ること、記憶すること



いりよう きかん  
① 医療機関において

しんさつ さい どう せつめい たい いちど き と むずか  
診察の際等の説明に対して、一度で聞き取ることが難しいた  
さいど せつめい もと せつめい へんとう こま  
め、再度説明を求めるが、もう説明したと返答され困ったこと  
があった。

## 2. エピソード～高次脳機能障害の方～

にがて  
苦手なこと⇒<sup>すうじ</sup>数字が<sup>にがて</sup>苦手



②スーパー・コンビニにおいて

かいけい さい ねだん よ あ き と  
お会計の際に、値段を読み上げられたとしても、聞き取りづら  
く、<sup>こんらん</sup>混乱してしまう。

### 3. エピソード～<sup>はったつ しょうがい</sup>発達障害・<sup>とう ごう しっちょうしょう</sup>統合失調症<sup>かた</sup>の方～

<sup>にがて</sup>  
苦手なもの

⇒ <sup>こ</sup>子どもの<sup>おお</sup>大きな<sup>こえ</sup>声、<sup>ひと</sup>人が<sup>たくさん</sup>沢山<sup>ばしょ</sup>いる場所



<sup>いりよう きかん</sup>  
① 医療機関において

<sup>しんりょう</sup>診療<sup>ま</sup>までの<sup>じ かん</sup>待ち時間<sup>なが</sup>が長いと、<sup>しんりてき</sup>心理的に<sup>ふたん</sup>負担があった。

### 3.エピソード～発達障害・統合失調症の方～

にがて                      ふあんかん                      つよ  
苦手なもの⇒不安感が強い



#### ②医療機関において

じゅしんまえ      もんしん      さい      きおうれき      くすり      ふくやく      きにゆう  
受診前の問診の際、既往歴や薬の服薬について記入するが、  
きにゆうないよう      かくにん      とき      ほか      まちあい      かた      き  
記入内容について確認される時に他の待合の方に聞こえな  
いか不安になった。

### 3.エピソード～発達障害・統合失調症の方～

にがて とくせいとう  
苦手なこと・特性等

ひび しょうじょう なみ しょうじょう つづ  
⇒ 日々症状に波があり、うつ症状が続く。

だいがく  
③ 大学において

えきとう ひと おお あつ ばしょ で む  
駅等の人が多く集まる場所に出向くことがしんどく  
かん かんきょう こうつう きかん つうがく むず  
感じる。そのため、公共交通機関での通学が難しい。





### 3.エピソード～発達障害・統合失調症の方～

にがて とくせいとう  
苦手なこと・特性等

じじょう し ひと げんき おも  
⇒ 事情を知らない人からは、元気だと思われる。



こうきょう こうつう きかん  
④ 公共交通機関にて

ゆうせん ざせき すわ まわ へん おも ふあん  
優先座席に座ると、周りから変に思われそうと不安だった。

## 4. <sup>いけん</sup> <sup>こうかん</sup>意見交換

2~3のエピソードをもとに、<sup>いりょう きかん</sup> <sup>だいがく</sup> <sup>しょうぎょう しせつ</sup> <sup>とう</sup>医療機関・大学・商業施設等で

<sup>はいりよ</sup> <sup>ひつよう</sup> <sup>いけん</sup> <sup>こうかん</sup> <sup>ねが</sup>どのような配慮が必要か、意見交換をお願いいたします。



## 5. 必要な配慮について

こうじ のう きのう しょうがい かた  
高次脳機能障害の方

いりょう きかん ひつよう はいりよ  
① 医療機関において必要な配慮とは…?

き と きおく にかて し  
・聞き取りと記憶が苦手であることを知ってもらうこと。

にかて ふ せつめい  
・苦手なことを踏まえて説明をすること。

きおく ほじょ しんさつ さい おんせい ろくおん きよか  
・記憶補助のために、診察の際に音声の録音の許可。

ちがごろ しつもん  
⇒ 近頃は質問もしやすくなった!



## 5. <sup>ひつよう</sup> <sup>はいりよ</sup>必要な配慮について

<sup>こうじ</sup> <sup>のう</sup> <sup>きのう</sup> <sup>しょうがい</sup> <sup>かた</sup>  
高次脳機能障害の方

② <sup>ひつよう</sup> <sup>はいりよ</sup>スーパー・コンビニにおいて必要な配慮とは…?

- <sup>かいけい</sup> <sup>さい</sup> <sup>ごうけい</sup> <sup>きんがく</sup> <sup>み</sup> <sup>しめ</sup>  
お会計の際に合計金額を見えるように示すこと。
- <sup>でんし</sup> <sup>けっさい</sup> <sup>とう</sup> <sup>ほうほう</sup> <sup>わ</sup> <sup>ひょうき</sup>  
電子決済等の方法を分かりやすく表記すること。

⇒ <sup>こうどう</sup> <sup>はんい</sup> <sup>ひろ</sup>コミュニケーションがとりやすくなり、行動範囲が広がる!



## 5. 必要な配慮について

発達障害・統合失調症の方

① 医療機関において必要な配慮とは…?



・待ち時間の場所を別エリアにする

・(外で待っている場合は)診療時間が近づいたら、電話をす  
る。

・問診の記載内容については、診察室等周りに人が少ないと  
ころで聞く。

⇒ 不安感の軽減!

## 5. 必要な配慮について

はったつしょうがい    とうごうしっちょうしょう    かた

発達障害・統合失調症の方

② 大学において必要な配慮とは…?



じゅぎょう    しゅっせき    たいおう  
・授業出席については、オンライン対応にしてもらう

⇒ 対面で話し合うような授業でも、オンラインで参加できるようにしてもらった。

⇒ 授業の他、オンライン化が進んだことで、社会参加がしやすくなった!

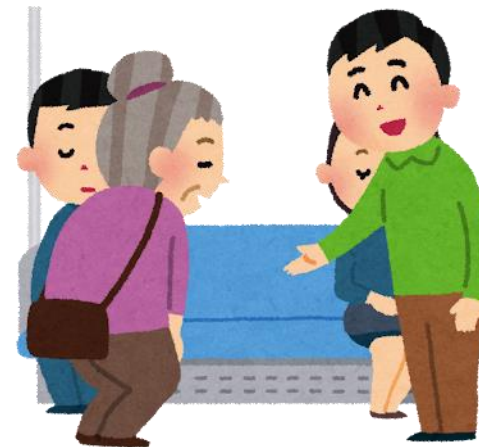
## 5. 必要な配慮について

発達障害・統合失調症の方

③ 公共交通機関において必要な配慮とは…?

・ヘルプマークをカバンにつける等の利用する。

⇒ 周りの目を気にすることが減り、優先座席を利用しやすくなった！  
優先座席の方が比較的空いており、不安感が軽減された！



## 6. 地域生活支援センター利用者の多くから寄せられたエピソード

・地域の小学校や中学校において、障害者理解を目的とした授業が開催されていることが利用者の励みになる。

・地域での交流場面で参加できる等、一緒に何かを取り組むことができることで、市民として一緒に取り組んでいるという気持ちを感じることができる。





# 7.まとめ

「合理的配慮」と聞くと、難しく聞こえますが、このようなエピソードを聞くと、実は身近なことで工夫できることが沢山あることに気づかされます。

身近なことに目を配り、障害のある方もない方も過ごしやすいまちを目指していきましょう!



ご<sup>せいちょう</sup>清聴ありがとうございますございました。